

地域公共交通の統合的政策 ～ 欧州の政策に学ぶ ～

日時：12月10日(火)16:50-18:35(5限)

場所：国際学術総合研究棟4階

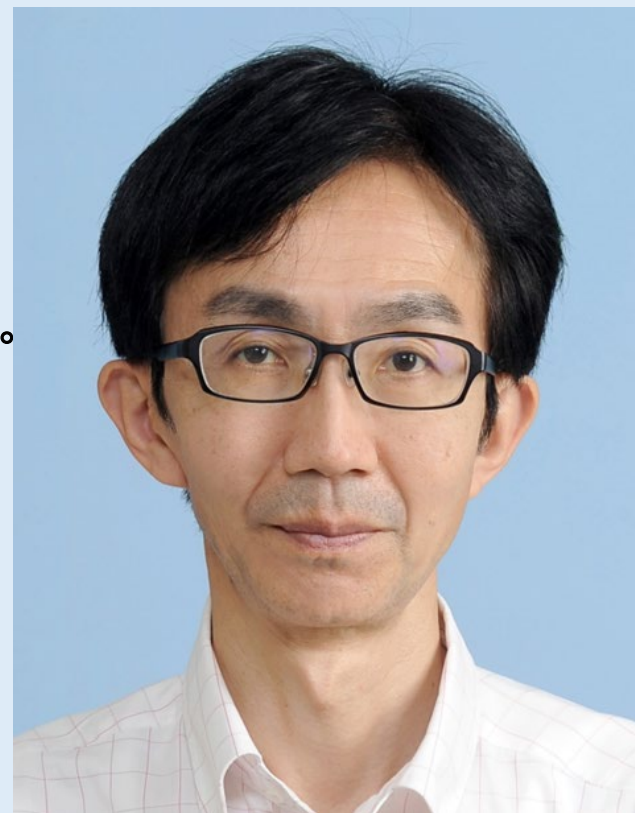
SMBC Academia Hall (対面授業にて開催)

公共政策大学院では、「地域交通政策研究」の授業において、下記のとおり、関西大学経済学部教授 宇都宮 浄人氏からお話を伺います。

日本では、地方都市圏を中心に、地域公共交通の運営に行き詰まりを見せています。これに対し、欧州は、1990年代ごろから持続可能性という観点を重視し、地域公共交通のサービス改善、新規投資を行ってきました。本講義では、オーストリアやイギリスの実例も踏まえつつ、欧州が進めている交通政策を検討します。具体的には、QOLの向上という観点から将来のあるべき都市の姿を描き、持続可能な都市モビリティ計画(SUMP)を策定していること、地域公共交通を「公共サービス」と位置付け、行政が事業者と契約(PSO契約)を結ぶ形の運営を行うことで、まちづくり関連施策と交通政策を一体化した統合的政策(integrated policy)を進めていることを学びます。

※履修登録者以外の本学学生の参加を歓迎いたします
(使用言語：日本語、本学学生以外の一般の方は参加出来ません。)

一問い合わせ：交通・観光政策研究ユニット ttpu@pp.u-tokyo.ac.jp—



関西大学経済学部教授
宇都宮 浄人 氏